

ばらとヨーグルトと世界遺産を有する東欧の国

神様がくれた国・ブルガリア

HIROSHIMA-BULGARIA ASSOCIATION



第2次・訪問団を派遣しオープニングに参加

ひろしま・ブルガリア協会は、カザンラック市で第1回「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」(主催：ひろしま・ブルガリア協会、カザンラック市)を開くため、第2次訪問団(团长：今村功一常任理事、3人)を7月29日(土)からブルガリアに派遣した。



カザンラック市の第1回「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」の開会あいさつをするダミヤノフ市長(2006年8月1日、カザンラック市・アートギャラリーで)

第2次訪問団(团长今村功一、理事佐藤昭夫、事務局員高橋正樹)は、ブルガリアのカザンラック市に派遣された。この訪問は、ブルガリアと日本の友好関係を深め、平和と核兵器廃絶を訴えるためである。

フダミヤノ市長「核兵器廃絶と平和を訴う」



ダミヤノフ市長と約束した原爆展の開催に感謝する今村团长

今村团长は、訪問団の团长として、ブルガリアのカザンラック市に派遣された。この訪問は、ブルガリアと日本の友好関係を深め、平和と核兵器廃絶を訴えるためである。

ブルガリア

第1回「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」

カザンラック市のアートギャラリーで

「被爆者の証言」に驚きと涙した参加者

8月1日～31日

地元のテレビや新聞などでも大きく報道



市新聞「ヒロシマ」に掲載された。また、地元テレビでも大きく報道された。



市新聞「ヒロシマ」に掲載された。また、地元テレビでも大きく報道された。



協会から贈った原爆資料館の図録

2020年までに核兵器廃絶を

第1回「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」を開催する。この展覧会は、被爆者の証言や資料を通じて、核兵器の悲惨な歴史を伝え、平和と核兵器廃絶を訴える。

第1回「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」を開催する。この展覧会は、被爆者の証言や資料を通じて、核兵器の悲惨な歴史を伝え、平和と核兵器廃絶を訴える。



オープニングに集まった多くの来館者

来館者は1か月間で延べ約800人



成功させたカザンラック市での第1回・「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」 さらに国際貢献、平和交流などを活発化



被爆して死んだ子どもが可哀想

ヴェセラ・ゲオルギエヴァさん (11)
小学校4年生

展示会場を回って見て、原爆が落とされた後の家がなくなった広島町の町や、苦しんでいる被爆者の写真を見て、心が苦しくなった。被爆して死んでいった子どもたちが可哀想でならない。

原爆がこんなに恐ろしいものかということを知り、恐ろしくなった。原爆は建物だけではなく、人の健康や心も壊していく。このような悲しいことが再び起こらないように、世界から核兵器をなくしてほしい。

核兵器の脅威を知ってほしい

ディヤン・ジェリアズコフさん (31)
私塾・英語教師



被爆者から初めて原爆による被害状況を聞いて、大変驚いた。さらに、原爆の恐ろしさを世界の一人でも多くの人に伝えて核兵器をなくしていこう、という活動をしている佐々木さんの生き方に大いに感動した。

原爆投下のことはテレビで見たことがあるが、被爆者の口から直接、話を聞いて新たな角度から戦争を考えることができた。戦争、核兵器は絶対にいけない。友だちや生徒にも原爆展を見に来るように呼び掛けたい。

平和の大切さを訴える話に共感

テンチ・ツォロヴァさん (55)
主婦

1945年に小学校5年生だった佐々木禎子さんが被爆したために若くして亡くなったことは、子どもの時に勉強したことがある。

今日、佐々木さんの被爆体験を聞き、つらくて心が痛む。戦争・核兵器が如何に恐ろしいことかを実感した。戦争・核兵器はいけないと言うだけでなく、平和の大切さを訴える話に共感した。戦争は悪で、大嫌いだ。戦争で一番の犠牲者が、いつも女性と子どもだからだ。

佐々木さんは平和の天使だ

ステファン・パプチェフさん (53)
物理学者・元大学教授



佐々木さんは自分の悲しい過去、経験をよく思い出して話してくれた、と感動した。

物理学を学んだ者として、核兵器の放射能が人間に如何に悪影響を与えるかを知っている。核兵器は絶対に廃絶しなければならない。

佐々木さんの話の時間を午後6時からにして、もっと多くの若い人に被爆のことを聞いてほしかった。平和の天使としてブルガリアに来られた佐々木さんには、長生きしてもらいたい。

カザンラック市を再訪し、原爆展の開催を推進



ダミヤノフ市長と最後の原爆展打合わせ



通訳の方とともに記念撮影

第2次「訪問」の今村団長ら一行は7月30日カザンラック市役所に訪問し、ヒロシマ・ナガサキ原爆展開催の最後の打合わせをした。

向こう1か月間、カザンラック市役所に「原爆展」の開催方法などについて話し合い、具体的な打ち合わせをした。

市長や館長の協力で成功

来場者のコメント

折さ展るラ直とでて
てテリこれポとリち訪話詰
も鶴れてス、ーに問しめ
らブやにいタすをア団た
っル資加た！で訪！の。下
たを料え。がにれトーさ、
。用をて展原てギ行い現
意置、示爆見ヤはー場



被爆当時の写真を食い入るように見る来館者
らあ驚口ど威弾てりる写めのにはオ
れち愕をに、のの見い写よ真掛来は18
たこす押、悲威るた真うをけ館約プ月
。ちるさ思惨力原。をに食、者6二1
に姿えわさや子初撮見い原が0ン日
見がてずな脅爆めった入爆詰人グの

写真を熱心に見る来館者



「ヒロシマ・ナガサキ」の原爆「ポスター」



「鶴」のポスター

被爆者の証言に大きな反響



がの器はで来が言事被、
高構廃大あ館が昼設-が爆原、
ま築絶きあ館間定を「者爆8
っつた、が、とさ語「者展月
てを恒、「、あ、た、のの2
い望久、「反、あ、た、者々日
たむ平核反、あ、た、者々日
。声和平兵響人、あ、た、者々日

販促の企画からパッケージの制作まで



(有) 巴紙工

広島市安佐南区 082-874-3175



ブルガリアの女性による

「ブルガリア語教室」

来春から毎月、第2木曜夜と第3日曜昼



場所：(財)ひろしま国際センター

講師：リュボフさん

広島市中区 082-541-3777



お気軽にご連絡ください。全車無線対応です。

中国タクシー株式会社

0120-887040

みんなで推進しよう！！ 平和・文化・教育・福祉・経済交流を
EU新加盟のブルガリアとの友情を深めて



第2次・ブルガリア訪問団の軌跡

7月29日(土)

7月30日(日)

7月31日(月)



広島市

成田空港で乗り継ぎ

広島空港 7:00 発

ドイツ

ドイツのフランクフルトへ

首都・ソフィア

フランクフルトで乗り継ぎ



ブルガリア共和国・首都ソフィアのヴラジデブナ国際空港 23:00 着

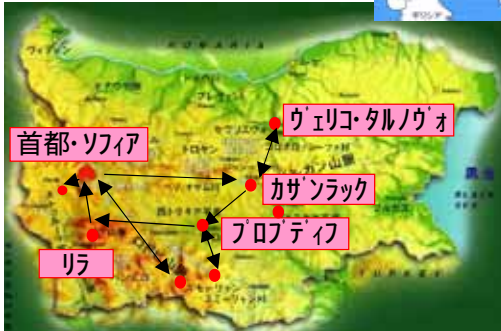


ダウンタウン・ホテル



出発前にホテルの前で現地スタッフと

カザンラック市



エニョ・ボンチェフローズオイル蒸留所



50年前のローズオイル収納ピン

昔のローズオイル蒸留機



工場の近くで家庭料理を

ヴェリコ・タルノヴォ市

7月31日(月)

ツアレヴェッツ古城が望めるレルトラン



旧商店街



ヴェリコ・タルノヴォ大学で日本語教師派遣についてイヴァン学長と意見交換



ヴェリコ・タルノヴォ大学



第1次・訪問団のホームステイ先・ナディアさん家族と



城跡が残るツアレヴェッツ古城前



グランドホテルでエミリアさんらと

在ブルガリア日本
国大使館の山岸書
記官と打合わせ

第2次・ブルガリア訪問団の軌跡

8月1日(火)



原爆展オープニングで市記念の盾をもらう

カザンラック市



独立戦争でオスマントルコと戦ったシブカ峠の碑



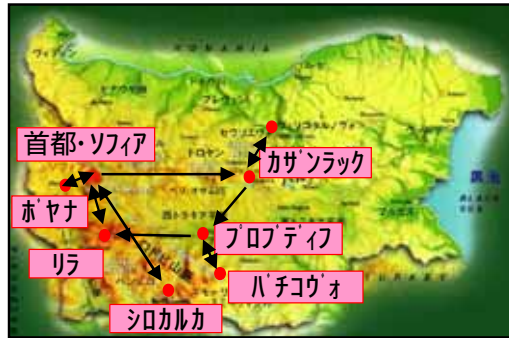
ヴェリコ・タルノヴォの町

プロブディフ市

8月2日(火)



反響を呼んだ佐々木理事による「被爆者の証言」



8月3日(木)



ローマ時代の円形劇場跡

バチコヴォ



マルコフ社長宅でさよならパーティー

首都・ソフィア市



バルカン半島で一番美しいといわれているアレクサンダル・ネフスキー寺院



リラの僧院に次ぐバチコヴォ僧院

8月4日(金)



世界遺産・リラの僧院

リラ



親鳥と同じ大きさに育ったコウノトリの雛

シロカルカ村

ボヤナ



世界遺産・ボヤナ教会



涼風が吹く滝のあるレストラン



ガイダを吹く少年の家族

ご支援金は、下記、振込みへ

郵便振込 01340-5-83924 ひろしま・ブルガリア協会

編集後記

合の軌跡を辿る。この訪問団は、ブルガリアの歴史をたどる。...

ザンラックの歴史。ブルガリアの歴史。...

お薬から訪問介護、デイサービスまでお任せを (有)ヤマオコーポレーション 薬剤師募集中 訪問介護、福祉用具貸与、デイサービス寺小屋チャオ、ひとみ薬局 広島市南区翠 082-250-9805